JACS NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第３３巻第２号
発行日●２０２５年７月３０日
発行●日本消費者行動研究学会事務局

第 71 回 消費者行動研究コンファレンス開催のお知らせ

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。現在、コーディネーターの西本章宏先生（関西学院大学）、森藤ちひろ先生（関西学院大学）、芳賀英明先生（國學院大學）を中心にプログラムを検討中です。詳細については次号でお知らせいたします。

開催日程：2025 年 10 月 25 日（土）・26 日（日）
開催場所：学習院大学（東京都豊島区）

自由論題研究報告募集！

第 71 回消費者行動研究コンファレンスにおける自由論題研究報告の報告者を募集します。詳細は、JACS Web サイト（http://www.jacs.gr.jp/ ）をご覧ください。

第 70 回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告
＜統一論題＞小売の実店舗と消費者行動研究

2025 年 5 月 24～25 日、名城大学天白キャンパスにおいて第 70 回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。第 1 日目の午前には自由論題研究報告、午後には統一論題による基調講演とパネルディスカッションが実施されました。第 2 日目には特集論文セッションの口頭発表、松井剛会長による会長講演、自由論題研究報告が行われ、第 1 日目と合わせて 21 件という多くの自由論題の研究発表がなされました。 統一論題では「小売の実店舗と消費者行動研究」をテーマとし、中央大学の寺本高先生による解題が行われたのち、早稲田大学の守口剛先生、関西学院大学の石淵順也先生、中央大学の中野暁先生に基調講演を頂きました。後半は、寺本先生の司会によるパネルディスカッションが行われました。小売の実店舗回帰の流れがある中で、小売実店舗を「研究対象」とした議論だけでなく、実店舗でのフィールド実験・調査といった「研究手段」としての展望についても活発な討議が行われました。懇親会を含めて大変盛況なコンファレンスとなりました。ご登壇頂いた先生方、開催校をご担当いただいた先生方、スタッフの方々に心から感謝申し上げます。

「特集論文」について

●特集論文セッション（第 5 期）：
論文受付を 2025 年 9 月 1 日よりスタートします。詳しくは別項（P3）をご覧ください。
●特集論文セッション（第 6 期）：
特集テーマを第 71 回コンファレンスにて発表いたします。乞うご期待ください。

2024 年度決算報告

第 70 回会員総会（2025 年 5 月 24 日）にて 2024 年度決算報告が行われ承認されました。

科　　目	2024 年度 予算額	2024 年度 決算額	差　異	2025 年度 予算額
1．事業活動収入				
会費収入	7,005,000	6,349,000	656,000	7,042,500
学術会員	5,280,000	4,836,000	444,000	5,220,000
学術学生会員	300,000	305,000	△ 5,000	500,000
個人賛助会員	155,000	130,000	25,000	175,000
法人賛助会員	850,000	850,000	0	850,000
滞納等	420,000	228,000	192,000	297,500
コンファレンス収入	2,000,000	2,096,000	△ 96,000	2,000,000
学会誌販売収入	40,000	78,243	△ 38,243	40,000
雑収入	0	12,624	△ 12,624	0
助成金	0	0	0	500,000
事業活動収入計	9,045,000	8,535,867	509,133	9,582,500
2．事業活動支出				
事務費	1,779,000	1,001,118	777,882	998,000
学会誌印刷・発送一式費 2025 年度予算額は学会誌制作・発行費として計上	470,000	518,698	△ 48,698	520,000
通信費	120,000	171,519	△ 51,519	180,000
Web ﾎｽﾃｨﾝｸﾞ サービス利用費	61,000	17,600	43,400	18,000
HP 管理業務委託費	858,000	0	858,000	50,000
その他	270,000	293,301	△ 23,301	230,000
事業運営費	4,065,000	4,128,941	△ 63,941	4,135,600
ｺﾝﾌｧﾚﾝｽ支出(会場費含む)	1,600,000	1,841,658	△ 241,658	1,600,000
ｺﾝﾌｧﾚﾝｽ開催費(開催校補助費)	400,000	400,000	0	400,000
ｺﾝﾌｧﾚﾝｽ Website 管理費	185,000	186,193	△ 1,193	187,000
学会誌作成費(査読謝礼費)	300,000	344,065	△ 44,065	350,000
査読システム運用費 2025 年度予算額は J-stage 作業費として計上	200,000	233,460	△ 33,460	25,000
新査読システム利用料 2025 年度予算額は査読システム利用料として計上	130,000	168,960	△ 38,960	200,000
学会誌サポート費	550,000	524,605	25,395	573,600
国際交流事業費	200,000	0	200,000	200,000
ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ開催費(開催補助費)	100,000	80,000	20,000	100,000
学会賞賞金	400,000	350,000	50,000	500,000
予備費	3,700,000	5,218,402	△ 1,518,402	5,162,000
学会誌在庫保管料	200,000	179,520	20,480	162,000
事務委託費	3,500,000	5,038,882	△ 1,538,882	5,000,000
事業活動支出計	9,544,000	10,348,461	△ 804,461	10,295,600
当期収支差額	△ 499,000	△ 1,812,594	1,313,594	△713,100
前期繰越収支差額	31,112,705	31,112,705	0	29,300,111
次期繰越収支差額	30,613,705	29,300,111	1,313,594	28,587,011

上記の通り報告いたします。　事務局担当理事　本條　晴一郎　印

上記の報告を適正なものと認めます。　監事　髙橋　広行　印

特集論文賞受賞者のお知らせ！

各年の応募の中から、コンファレンス特集論文セッションでの発表および『消費者行動研究』の特集論文号に掲載された中から、特に優秀な口頭発表と論文を選定し、その著者に授与されます。

「特集論文（第 3 期）」特集論文賞（論文）

特集論文賞（論文）は、J-stage に早期公開されました対象論文について、学会賞審査委員会にて厳正な審査を行います。特集論文（第 3 期）について、特集論文賞（論文）を受賞されたのは次の方です。

◆「家庭における家事ロボット：矛盾する制度ロジックを保有するオブジェクトと消費者との関係構築」

織田　由美子（名古屋商科大学）

学会誌「消費者行動研究・特集論文号」早期公開日：2024/10/31　　奥付 30 巻 2 号・2025/03/31

「特集論文（第 4 期）」特集論文賞（口頭発表）

特集論文賞（口頭発表）は、特集論文に投稿されました論文のうち 2 回の査読を経て特集論文セッション発表に採択されました対象者について、学会賞審査委員会にて厳正な審査を行います。第 70 回消費者行動研究コンファレンス特集論文セッションより、特集論文賞（口頭発表）を受賞されたのは次の方です。

◆「トラップ質問に接した回答者は、その後の回答行動を変えるのか？―不注意・努力不足回答識別法による注意喚起効果―」

中野　暁（中央大学）、竹内　真登（名古屋市立大学）、長崎　貴裕（株式会社インテージ）

本ニューズレターでは、学会賞各賞の受賞者を順次ご紹介しております。
今号では、2024 年度 JACS 論文プロポーザル賞（※）を受賞されました王 子寧氏(中央大学大学院)、秦 禹氏(東京大学大学院)にご登場頂きました。
※論文プロポーザル賞は、2025 年度より、JACS-Smart Analytics 論文プロポーザル賞に名称変更いたします。

9 月 1 日より「特集論文（第 5 期）」公募を開始いたします

『消費者行動研究』の特別号（2026 年刊行予定）に掲載する特集論文を、来る 9 月 1 日より受付開始いたします。研究者・大学院生の方々からの、多数の応募を期待しております。

特集テーマ「消費者行動研究における方法論的革新」

査読を経て発表可となった場合、2026 年春のコンファレンスで発表して頂きます。

応募受付開始	**2025 年 9 月 1 日**
応募締切	**2025 年 12 月 1 日**
発表諾否の査読結果通知	**2026 年 3 月下旬頃**
春のコンファレンスにて発表	**2026 年 5 月**

◆詳細なスケジュール、応募方法、査読プロセスなどに関しましては募集要項をご参照ください◆

https://www.jacs.gr.jp/conference/tokushuronbun-5/

ー2024 年度 JACS 論文プロポーザル賞　優秀賞ー

「昆虫食品に対する嫌悪感を低減するマーケティング手法の探索」

王　子寧（中央大学大学院）

このたび、「JACS 論文プロポーザル賞」において優秀賞を受賞することができ、大変光栄に存じます。審査員の先生方をはじめ、コンファレンスの運営にご尽力いただきました皆様には、貴重な場を設けてくださったことに深く感謝申し上げます。お忙しい中、私たち若手研究者にこのような貴重な機会を与えてくださったことに、改めて御礼申し上げます。

今回発表させて頂きました論文プロポーザルは「昆虫食品に対する嫌悪感を低減するマーケティング手法の探索」でした。昆虫食は、栄養価が高く、環境負荷が少ない持続可能なタンパク源として注目を集めています。しかし、多くの消費者にとって昆虫食は心理的な抵抗感や嫌悪感を伴う存在であり、その普及には依然として多くの課題が存在しています。このような現状を踏まえ、私の研究は、昆虫食の普及に向けた効果的なマーケティング手法を探ることを目的としています。具体的には、3 つのリサーチクエスチョンを軸に研究を進めています。第一に、「どのような昆虫食を開発すべきか？」という製品開発の視点です。昆虫食の形態や味付け、パッケージデザインなどが消費者の受容にどのような影響を与えるのかを検証することで、受け入れられやすい製品の特徴を明らかにすることを目指しています。第二に、「どのようなプロモーション手法が効果的か？」というコミュニケーションの視点です。昆虫食の心理的障壁を克服するためには、消費者の興味を引き、抵抗感を和らげるような効果的なコミュニケーション戦略が必要です。たとえば、昆虫を親しみやすく擬人化した広告や、環境保全や栄養価の高さを訴求する情報提供がどの程度効果を発揮するかを実証的に検討しています。第三に、「昆虫食の導入が既存の製品やブランドイメージにどのような影響を与えるか？」というブランド戦略の視点です。昆虫食の販売が既存のブランドイメージや消費者の購買意図に与える影響を分析し、企業がどのように自社ブランドと昆虫食の調和を図るべきかについて提言を行っています。私の研究を通じて、昆虫食の普及に向けた道筋を示す一助となれれば幸いです。

今回の受賞にあたり、これまで多くの方々から温かいご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。特に、日頃よりご指導くださっている朴宰佑先生、そして朴ゼミの皆様には、深くお礼を申し上げます。先生の的確なアドバイスや、ゼミでの活発な議論は、私の研究を進めるうえで大きな原動力となりました。また、日々の研究活動を支えてくださる中央大学の職員の皆様にも、この場を借りて感謝申し上げます。大学からの充実したサポートがあったからこそ、安心して研究に専念することができました。この受賞を励みに、今後も研究に精進し、昆虫食の普及に向けた新たな知見を提供することで社会に貢献したいと考えています。引き続き、皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ー2024 年度 JACS 論文プロポーザル賞　優秀賞ー

「低所得者の偽造ラグジュアリー製品購入に対する社会的評価について」

秦　禹（東京大学大学院）

この度は、第 24 回 JACS 論文プロポーザル賞優秀賞を賜りましたこと、大変光栄に存じます。審査員の先生方ならびにコンファレンス運営にご尽力くださった皆様におかれましては、大変ご多忙の中、このような貴重な場を設けていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

本研究プロポーザルでは、「所得状況が偽造ラグジュアリー製品の購入に対する社会的評価に与える影響」について検討しました。近年、ラグジュアリーブランド市場における偽造品の流通は急速に拡大しており、世界の偽造品市場は年々規模を増しています。これに伴い、消費者の倫理観や社会的評価の観点からも関心が高まっており、偽造品を購入することの是非についての議論が活発に行われています。一般的に、偽造品の消費は非倫理的な行動と見なされる傾向がありますが、その評価が購入者の所得状況によって変化する可能性があることは、これまでの研究では十分に検討されていませんでした。

本研究プロポーザルでは、所得状況が偽造品購入に対する社会的評価にどのように影響を与えるかを明らかにすることを目的とし、オンライン実験を通じて検証を行う予定です。具体的には、高収入者と生活保護受給者が偽造ラグジュアリー製品（対正規ラグジュアリー製品）を購入した際に、他者からどのようなモラル評価を受けるのかを検証します。さらに、偽造ラグジュアリー製品の種類（完全な偽造品 vs. 模倣品）が社会的評価にどのような影響を与えるかについても分析を行います。ラグジュアリー市場における偽造品には、正規ブランド製品と見た目が完全に一致する「偽造品」と、正規ブランド製品に似ているが異なる特徴を持つ「模倣品」が存在します。これらの違いが、所得状況によるモラル評価の違いとどのように相互作用するのかについても、オンライン実験を通じて検証する予定です。現在、学会発表でいただいた先生方のコメントを基に、理論的な精緻化を進めており、既存の倫理的消費に関する研究との接続を強化し、より説得力のある研究枠組みを構築することを目指しております。

最後になりますが、このような栄誉ある賞をいただくことができたのは、日頃よりご指導いただいている先生方のご助言とご支援のおかげです。現在ご指導いただいております東京大学の元木先生をはじめ、学会等でお世話になっている先生方に、改めて深く感謝申し上げます。また、研究活動を支えてくださっている研究仲間や家族にも心より感謝いたします。今回の受賞を励みに、今後も研究に邁進し、より実践的かつ理論的に貢献できる研究を目指してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025 年度 JACS-Smart Analytics 論文プロポーザル賞について

去る第 70 回会員総会において、2025 年 JACS-Smart Analytics 論文プロポーザル賞発表予定者につきまして、12 件の応募があり、秋の第 71 回消費者行動研究コンファレンスでプレゼンテーションへ進める旨を報告いたしました。しかしその後、事務取扱での応募受付方法の不備により、5 件の応募受領確認漏れが判明いたしました。これにより、2025 年度の応募総数は 17 件となりました。

応募が多数に上ったことから、すべてのプロポーザルをコンファレンス当日にご発表いただくことが、大会運営の点からも、また審査の質を確保する点からも困難であるとの判断に至りました。このため、執行部および論文プロポーザル賞審査委員会で協議を重ねた結果、書類審査を新たに導入し、コンファレンスでの発表者を事前に選出する審査手続きの変更を役員会に提案し、審議了承されました。

今回の変更は、より公正な審査を実現するための措置であり、会員の皆様にはご理解とご了承を賜りますようお願い申し上げます。

JACS『消費者行動研究』規程「二重投稿」に対する方針の一部改訂について

第 70 回会員総会において、JACS『消費者行動研究』規程「二重投稿」に対する方針の一部改定が承認されましたのでご案内申し上げます。詳細につきましては下記の投稿規定をご覧ください。

https://www.jacs.gr.jp/wp-content/uploads/2025/05/contribution_regulation_20250530.pdf

JACS『消費者行動研究』第 31 巻 1 号・2 号の刊行について

最新刊の『消費者行動研究』、及びバックナンバーは J-Stage および学会ホームページをご確認ください。

https://www.jacs.gr.jp/book/read/

＜最新刊＞

■『**消費者行動研究**』 Vol.31 No.1（**2024 年 10 月発行**）

■『**消費者行動研究**』 Vol.31 No.2（**2025 年 3 月発行**）

※Vol.28 までの印刷版（紙媒体）バックナンバーを随時、販売しています。ご希望の方は下記をご参照の上、お申込下さい。

https://www.jacs.gr.jp/book/read/

学会費の「銀行振込」についてのお願い

会費納入に際しましては、事務局から郵送でお送りしている「郵便局の振込用紙」でのお振り込みをお願いしておりますが、銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

なお、会費納入時、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。

JACS Website
（ https://www.jacs.gr.jp/admit/#change ）からご自身でも直接変更可能ですので、是非ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は
学会 Website (https://www.jacs.gr.jp/admit/) から入会申請を行ってください。

●入会資格

[学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部科学省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。
但し、学術会員１名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●入会規定　https://www.jacs.gr.jp/admit/

●年会費

※令和 3 年度（2021 年度）より
[学術会員]　12,000 円
（但し、大学院生は 5,000 円に減免）
[賛助会員] 個人会員 １口　5,000 円
法人会員 １口 50,000 円

★法人賛助会員には会員特典がございます。
詳しくは学会 Website
https://www.jacs.gr.jp/info/#practitioner
「法人賛助会員：会員特典」をご覧ください。

●日本消費者行動研究学会（JACS）事務局のご案内●

（事 務 局）東京科学大学　本條晴一郎研究室
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
Email: jacs.assist@gmail.com

（事務取扱）日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012　東京都文京区大塚 5-3-13　3F
一般社団法人　学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025　/　Fax: 03-5981-6012
Email: jacs@asas-mail.jp

＜JACS Website＞　https://www.jacs.gr.jp